

# 山寺通信 4月号

もうすぐ新茶になります、現在当社では、お茶前線として種子島から猿島までの各産地名と時期さらに急須の歴史等を織り交ぜたA3サイズのポスターをご注文の荷物に入れてみました。キャリーティーボトルのQ&A形式での情報チラシを補助に入れました。製品を売る為の一定程度以上の情報が必要な時代になっています。ネットによる情報がスマホで広く拡散しています。今までパソコンから得ていた情報がスマホ時代になると電話感覚でとてもシンプルになっています。さらにスマホに表示される画像も背景もとても見やすいものになっています。簡単に情報が手に入り易くなっているのです。ですから感性だけでなく説得力のある説明や解説が求められる時代になっています。今回売り出した中国製キャリーボトルを選んだ理由は、感性的にはプロのデザイナーによりデザインされた物で、ファッション性に優れている。次に、お茶の健康的側面で話題になっているポリフェノールのような成分は、持続時間が2~3時間とも言われています。生活の中でほどよく摂取できるのはお茶しかありません。それを道具によってカバーする。事務所でも移動中でも常に身近においてお茶が飲める。これらお茶の優位性であること等を売り場で話すことでお茶に対する認知度は上がると思われまます。さらにペットボトルに対しては、甘さ、渋さ等年代により違う味覚も表現できます。下に記載した抹茶碗は、現在清水焼が主流になっている楽焼を常滑の永柳光生に釉薬の研究者と一緒に作ってもらいました。NEW 楽が出来上がりました。個展等でも注目を浴び新しい抹茶ファンができています。

永柳は、常滑出身 韓国の陶芸家との交流もあり韓国の井戸茶碗や青磁の研究もしている

(NEW 楽 多色掛け茶碗)



光-1 ¥8,000 12/H8cm



光-2 ¥12,000 11.5(口 10.7)/H9cm



光-3 ¥12,000 12/H9cm



光-4 ¥8,000



光-5 ¥8,000



光-6 ¥7,000



光-7 ¥6,000



gh 光-8 ¥6,000



光-9 ¥8,000



光-10 ¥6,000



光-11 ¥7,000